

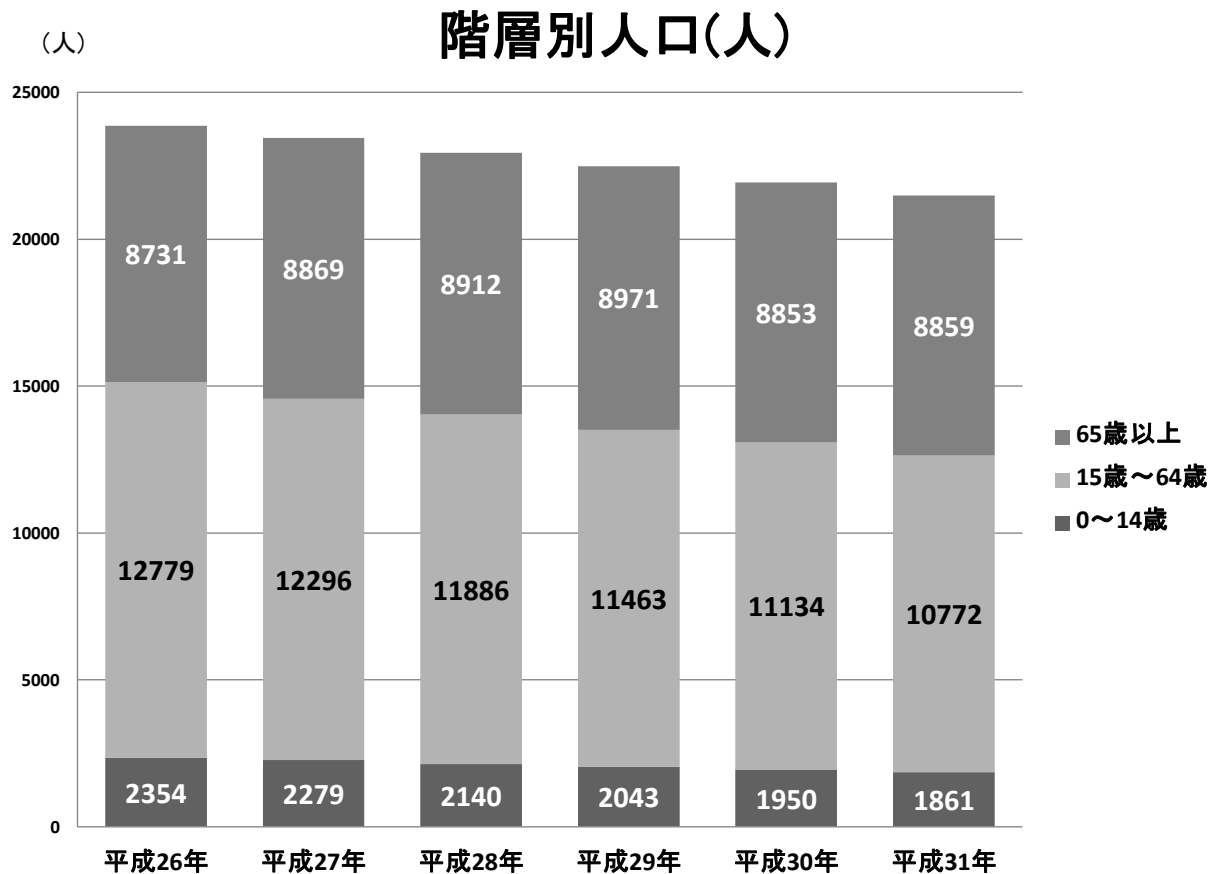
下田市の現状

【人口】

本市の人口は5年間で2,372人減少し、平成31年には21,492人となっています。毎年約500人ずつ減少しています。

年齢階層別では、0歳から14歳(年少人口)及び15歳から64歳(生産年齢人口)の年代が徐々に減少し、65歳以上(老年人口)の割合は横ばい状態です。

年	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	総人口
平成26年	9.9%	53.5%	36.6%	23,864人
平成27年	9.7%	52.5%	37.8%	23,444人
平成28年	9.3%	51.8%	38.9%	22,938人
平成29年	9.1%	51.0%	39.9%	22,477人
平成30年	8.9%	50.8%	40.3%	21,937人
平成31年	8.7%	50.1%	41.2%	21,492人



資料:住民基本台帳 (各年3月31日基準)

下田市の現状

【死亡原因及び1人当たり医療費】

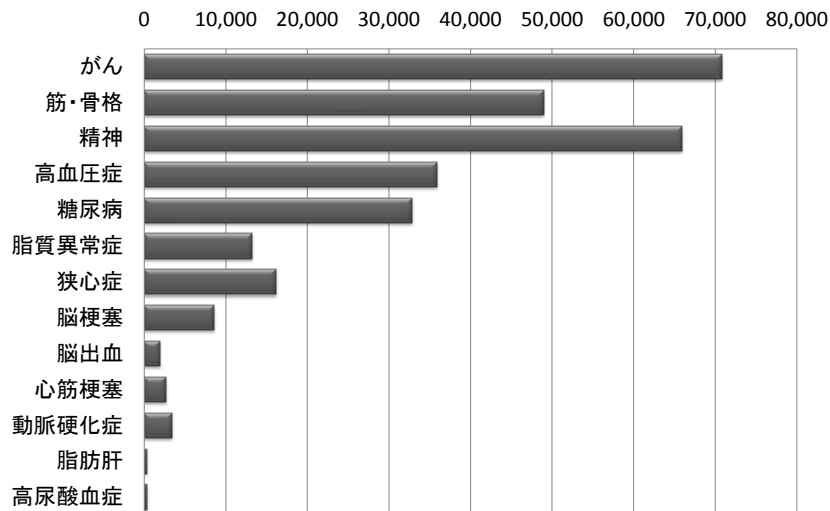
本市の死亡原因1位は悪性新生物、2位は循環器疾患です。県と比較しても上位2位が同じです。

死亡原因		(単位:人)			
順位	死亡原因	平成29年 県		平成25～平成29年 下田市	
1	新生物(腫瘍)	10,987	26.7%	551	28.1%
2	循環器	10,847	26.4%	501	25.5%
3	老衰等	5,033	12.3%	264	13.4%
4	呼吸器	5,456	13.3%	242	12.3%
5	傷病事故	2,105	5.1%	116	5.9%
6	消化器	1,434	3.5%	93	4.7%
7	内分泌代謝	743	1.8%	44	2.2%
8	腎尿路	1,123	2.7%	42	2.1%
9	神経系	1,310	3.2%	37	1.9%
10	感染症	722	1.8%	34	1.7%
11	精神行動	755	1.8%	15	0.8%
12	筋骨格	275	0.7%	12	0.6%
13	血液	116	0.3%	5	0.3%
	皮膚皮下	80	0.2%	5	0.3%
	先天奇形	79	0.2%	2	0.1%
	周産期	10	0.0%	1	0.1%
	眼	1	0.0%	0	0.0%
	耳	1	0.0%	0	0.0%
	妊娠分娩	1	0.0%	0	0.0%
	合計	41,078		1,964	

資料:平成25年～平成29年 静岡県人口動態統計(別冊)市区別死亡統計

本市の国民健康保険加入者および後期高齢者医療制度加入者の1人当たり医療費は、がんがいちばん高く、次に精神疾患が高くなっています。また、糖尿病と比べ、高血圧症が高くなっています。

1人当たり医療費(円)



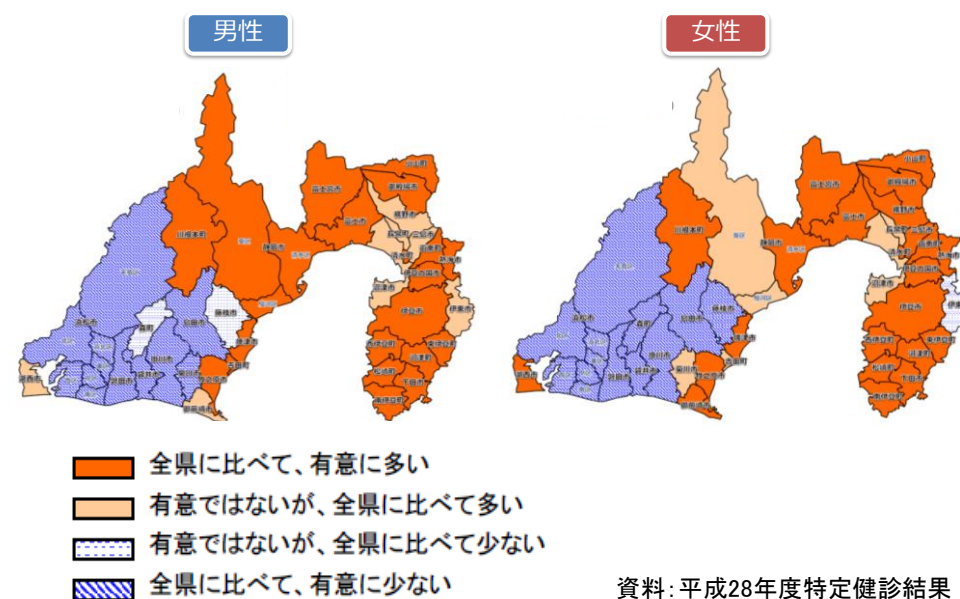
資料:しずおか茶っどシステム
疾病統計/調剤金額含む/平成30年度処理分

下田市の現状

【高血圧症の状況】

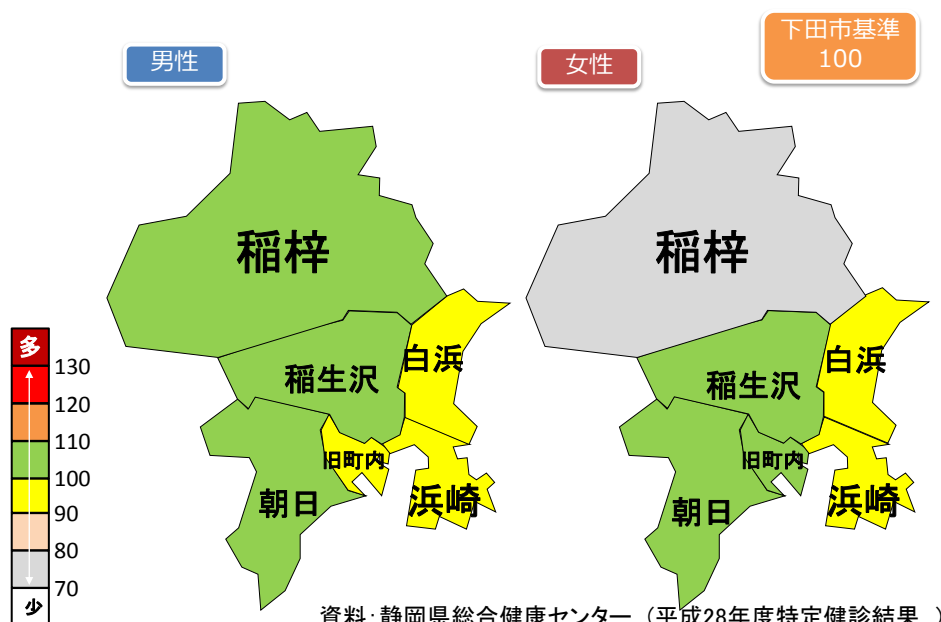
西部地域と比べて、東部地域、伊豆地域の方が高血圧症及び予備群が多くなっています。本市も同様に、全県に比べて高血圧症及び予備群が多くなっています。

高血圧有病者+予備群



本市の地区別の高血圧者は男性では稲梓地区、稲生沢地区、朝日地区に多くなっています。女性では稲生沢地区、旧町内地区、朝日地区に多くなっています。

地域別高血圧者標準化該当比



下田市の現状

【体格バランス(BMI 数値判定割合)】

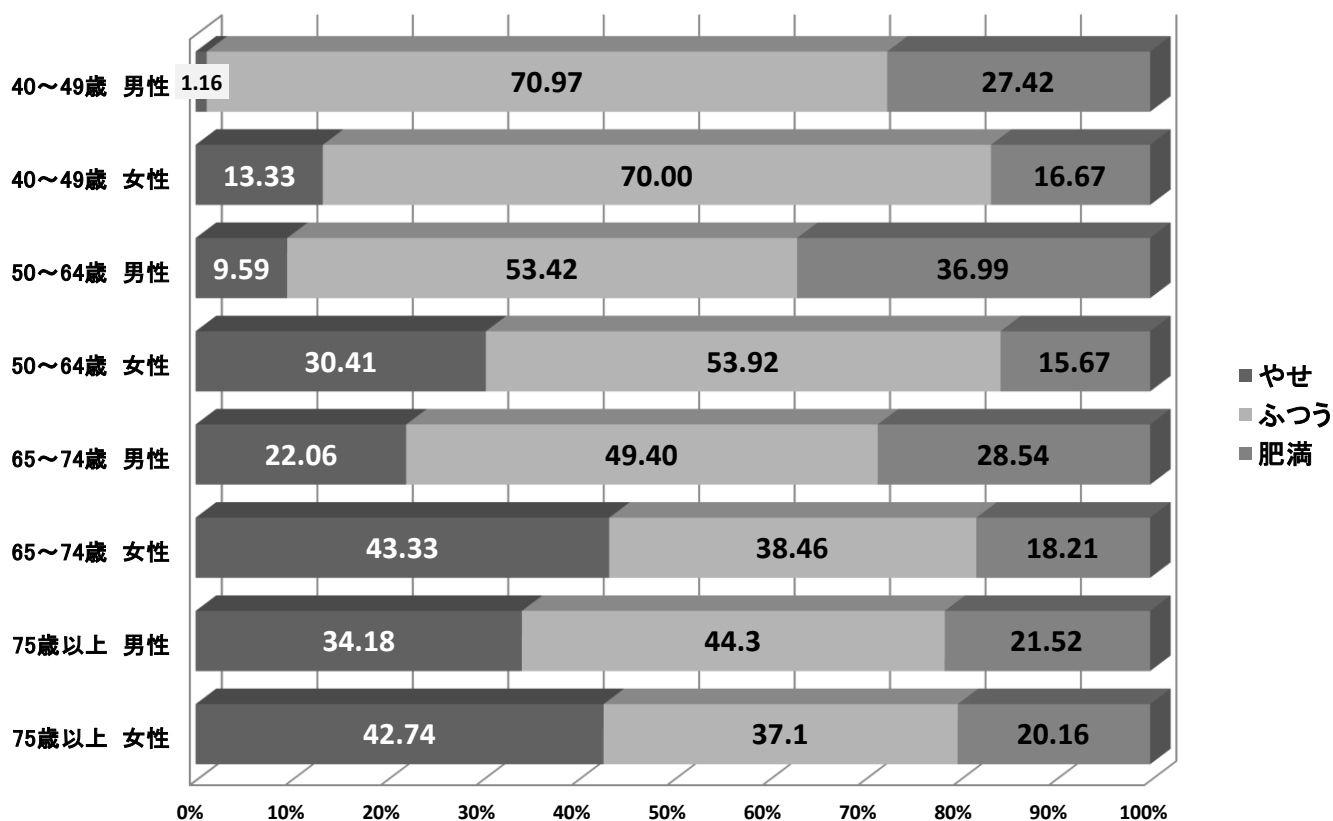
本市のやせの割合は年代が上がるにつれて増加している状態です。50 歳代の男性は肥満が多く、女性はやせの割合が多くなっています。

65 歳以上の女性は、BMI21.5 未満の割合が 4 割以上と多くなっています。

年齢	目標とする BMI(k/m ²)
18 歳～49 歳	18.5～24.9
50 歳～64 歳	20.0～24.9
65 歳～74 歳	21.5～24.9
75 歳以上	21.5～24.9

(日本人の食事摂取基準 2020 年度より)

体格バランス(%)

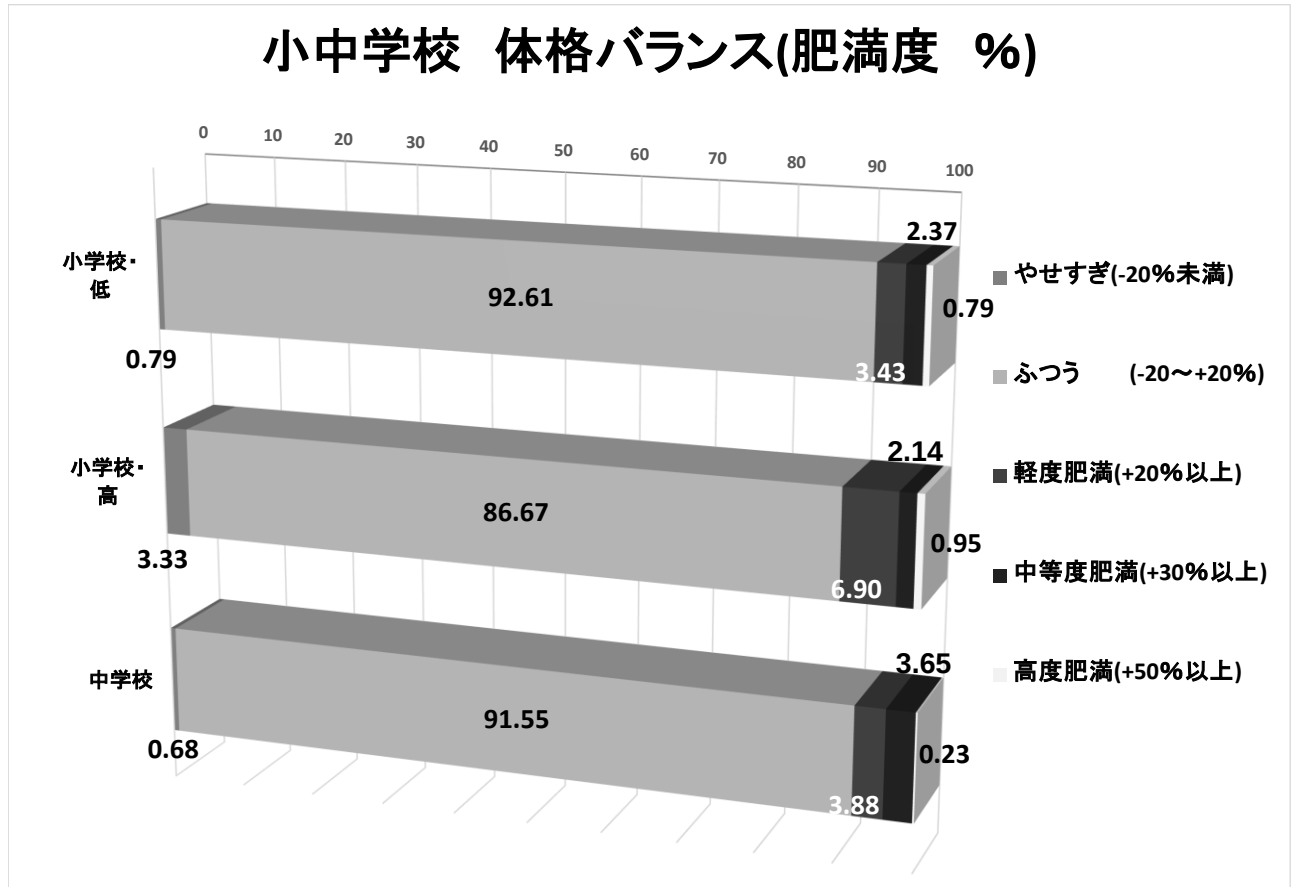


資料: 平成30年度国保特定健診/人間ドック/後期高齢者健診結果(平成30.4.1現在)

下田市の現状

【児童、生徒の体格バランス】

本市の児童、生徒の肥満(肥満度 20%以上)の割合は、小学校低学年と比べ、高学年に多いです。また、やせの割合も多いです。学年により肥満度に差がみられるため、個々の体重の増減に留意していく必要があります。



資料: 令和元年度育つ下田の子

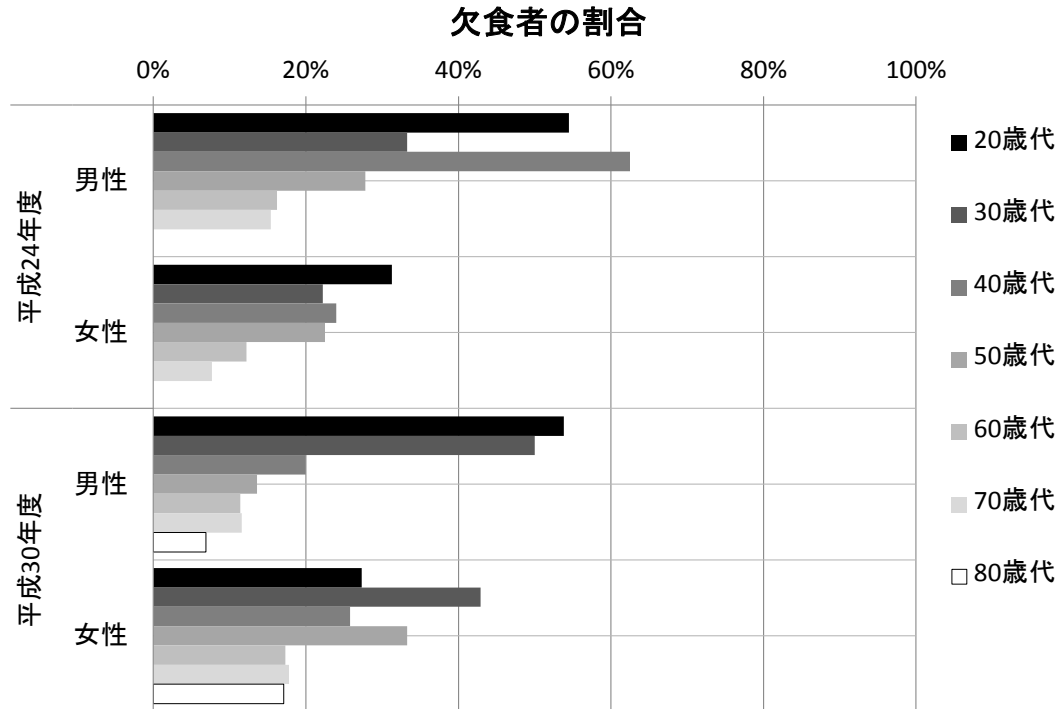
肥満度 = $\frac{[\text{実測体重(kg)} - \text{標準体重(kg)}]}{\text{標準体重(kg)}} \times 100(\%)$

※標準体重は村田式

下田市の現状

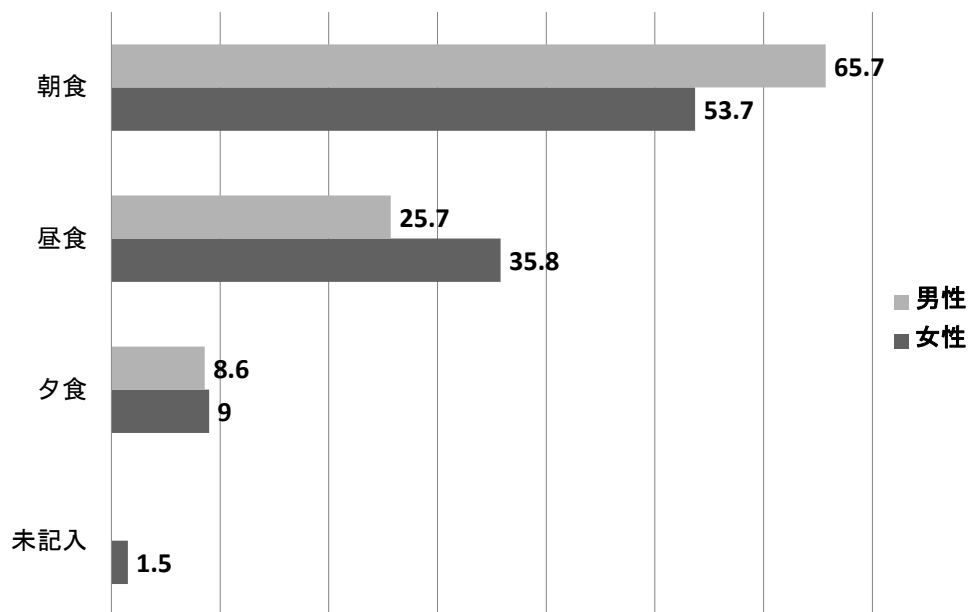
【欠食者の割合(20 歳以上)】

本市の平成 30 年度の 20 歳代の男性の欠食率は平成 24 年度と変わらず、横ばい状態です。平成 30 年度は 20 歳代、30 歳代の男性の約半数の人が欠食しています。依然として、若い世代において朝食を食べない割合が多くなっています。



資料:平成24年度 下田市健康増進アンケート
平成30年度 下田市健康増進アンケート

欠食する人の欠食するタイミング(%)



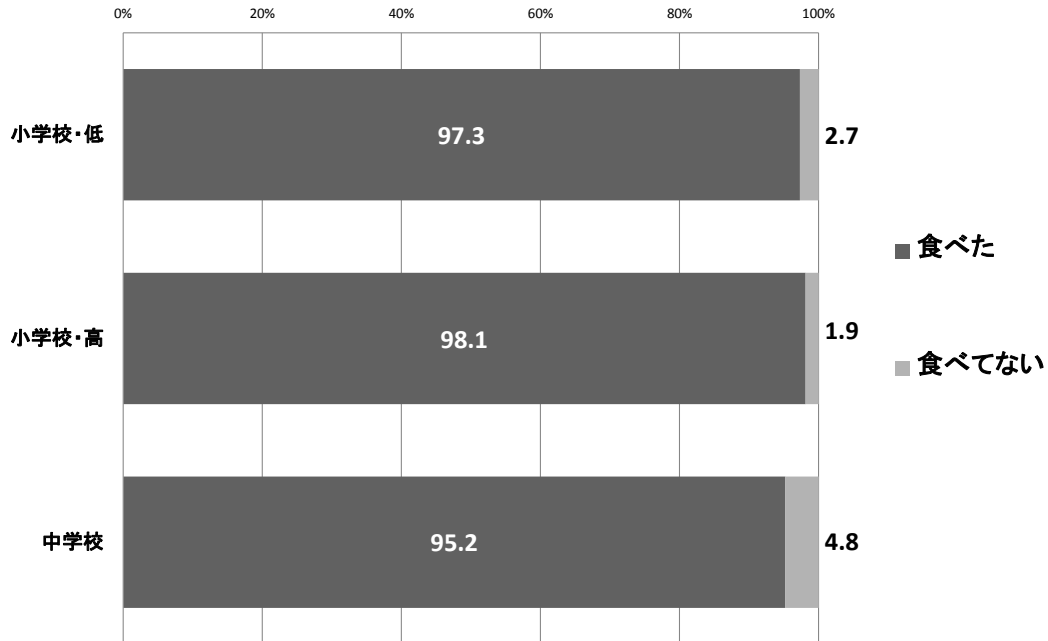
資料:平成30年度 下田市健康増進アンケート

下田市の現状

【小学校・中学校朝食調査】

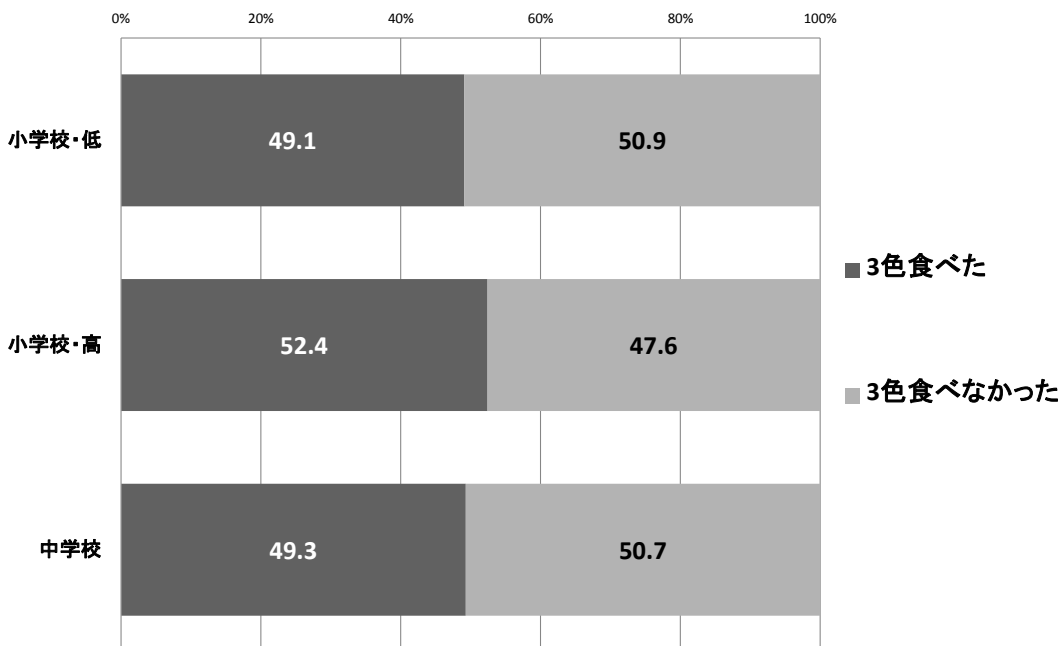
本市の小学生、中学生のほとんどが朝食を食べていますが、バランスよく3色(赤・緑・黄)揃えて食べている児童・生徒は5割程度です。

小中学校朝食摂取調査(%)



資料: 令和元年度育つ下田の子 平成30年度 朝食調査

小中学校朝食バランス(%)



資料: 令和元年度育つ下田の子 平成30年度 朝食調査

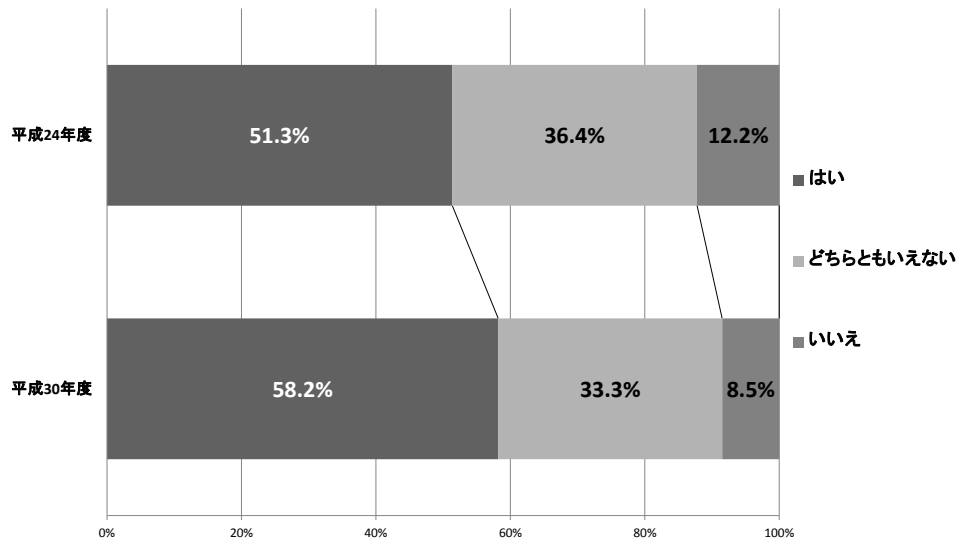
下田市の現状

【栄養バランスに気を付けている人の割合】

本市の栄養バランスに気を付けている人の割合は6割程度です。「どちらともいえない」人の割合は3割程度です。

平成 24 年度と比較すると、栄養バランスに気を付けている人の割合は増加しました。

栄養バランスに気を付けている人の割合

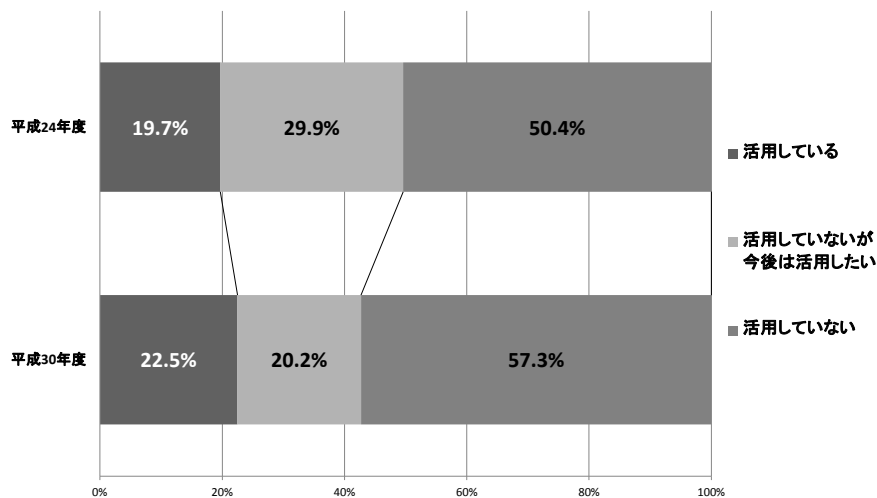


資料: 平成24年度 下田市健康増進アンケート
平成30年度 下田市健康増進アンケート

【栄養成分表示の活用】

本市の栄養成分表示の活用は平成 24 年度と比べて増加しましたが、依然として低い状況です。

栄養成分表示の活用状況



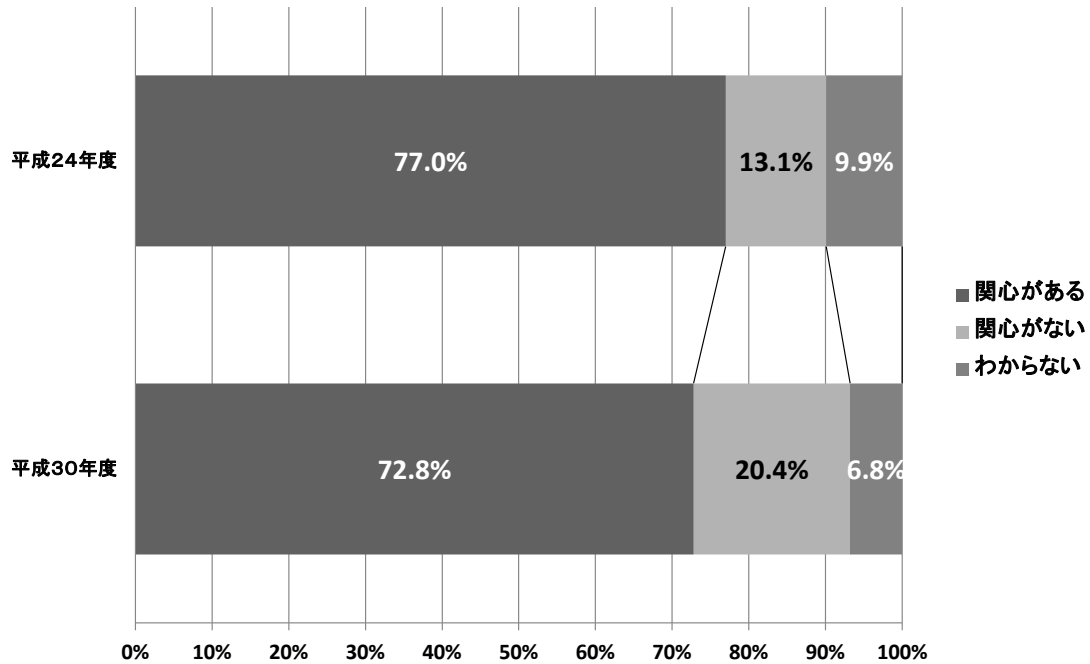
資料: 平成24年度 下田市健康増進アンケート
平成30年度 下田市健康増進アンケート

下田市の現状

【食育に関心のある人の割合】

本市の食育に関心のある人の割合は、7割程度です。平成 24 年度と比較すると減少し、関心がない割合が増加しました。

食育に関心のある人の割合

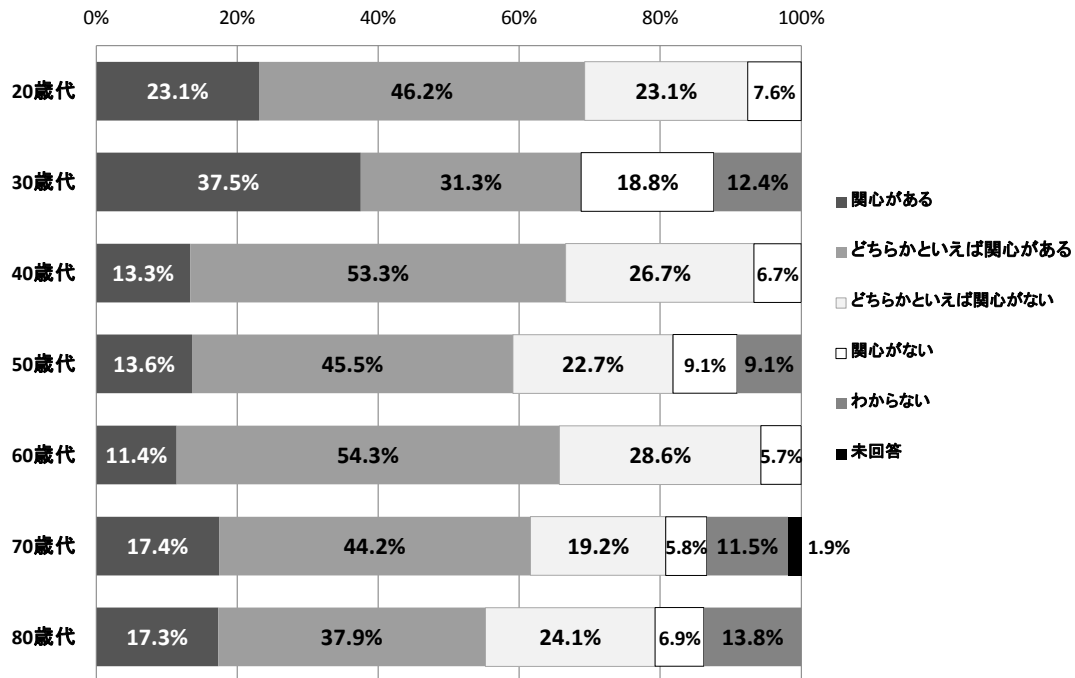


資料: 平成24年度 下田市健康増進アンケート
平成30年度 下田市健康増進アンケート

下田市の現状

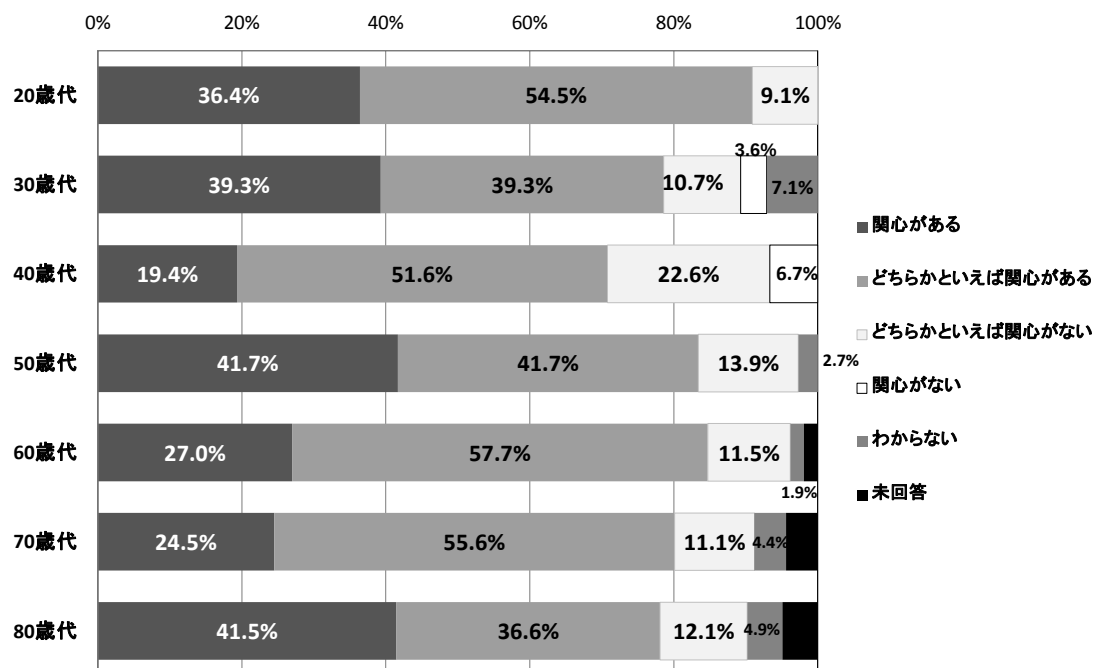
どの年代も女性の方が男性と比べて食育に関心のある割合が多いです。また、どの年代も「食育に関心がない」と回答する割合が1～3割程度います。

食育に関心のある人の割合(男性)



資料:平成30年度 下田市健康増進アンケート

食育に関心のある人の割合(女性)



資料:平成30年度 下田市健康増進アンケート

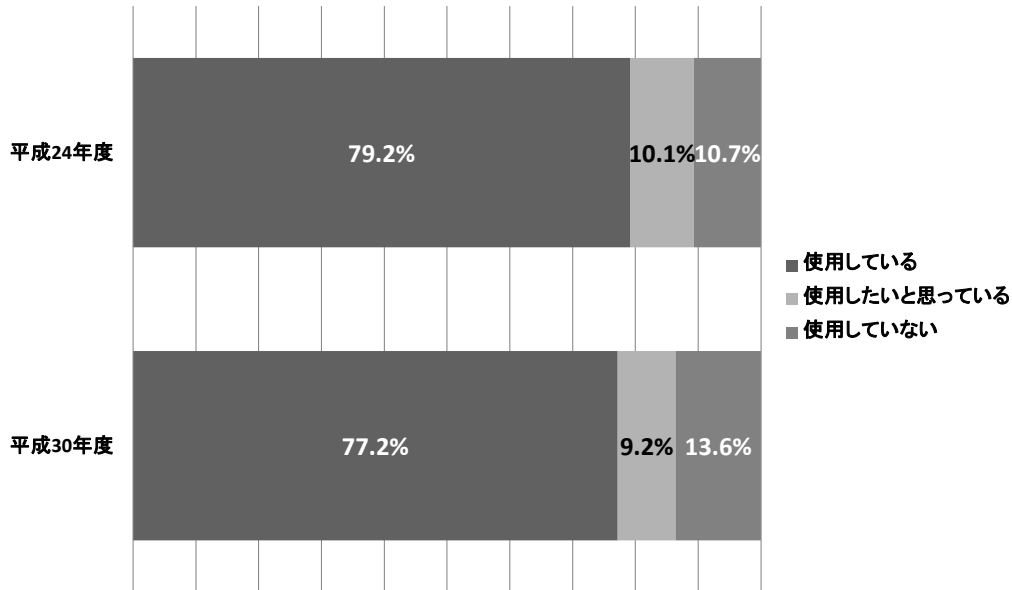
下田市の現状

【地場産品の使用状況】

本市の地場産品の使用状況は、平成 24 年度と比較すると約 8 割と横ばい状態です。

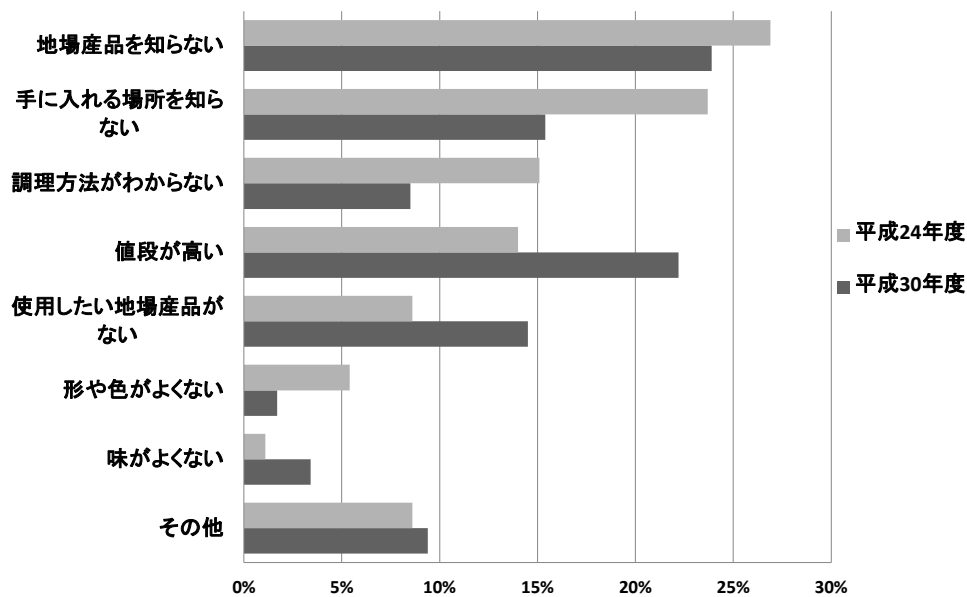
使用していない理由は、「地場産品を知らない」、「地場産品を手に入れる場所を知らない」割合が減少し、「値段が高い」割合が増加しました。

賀茂地域の地場産品を使用している割合



資料: 平成24年度 下田市健康増進アンケート
平成30年度 下田市健康増進アンケート

賀茂地域の地場産品を使用していない理由



資料: 平成24年度 下田市健康増進アンケート
平成30年度 下田市健康増進アンケート

下田市の現状

【食育の連携体制】

本市では、行政、教育、地域それぞれ連携して食育を推進している団体は18団体あります。

連携の体制

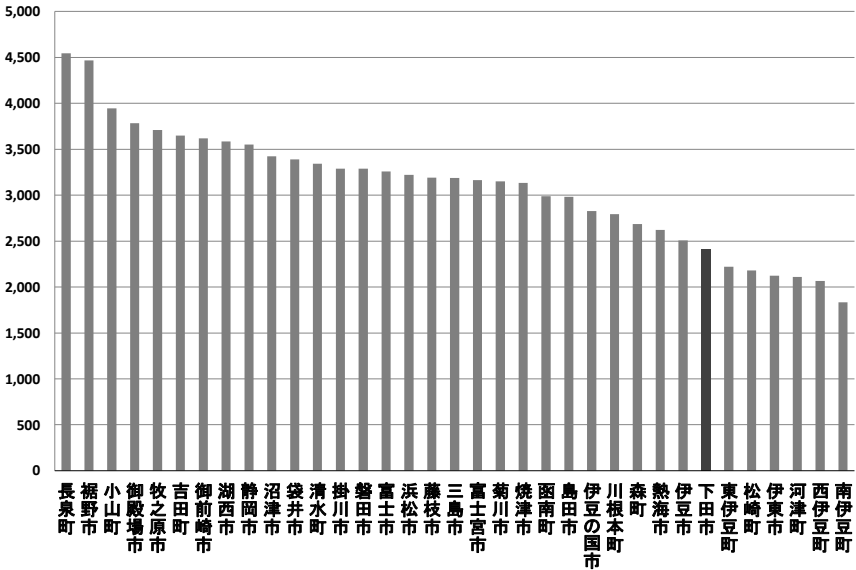
行政	教育	地域	
市民保健課	認定こども園 幼稚園・保育所	下田市健康づくり食 生活推進協議会	下田市 8020推進員
下田市教育委員会 (学校給食センター 含む)	小学校 (特別支援学級 含む)	下田市社会福祉 協議会	市内薬局
産業振興課	中学校	JA伊豆太陽	下田市農業振興会
下田市立図書館	高校	賀茂農林事務所	下田市商工会議所 青年部
		市内スーパーマー ケット(2店舗)	
4団体	4団体	10団体	
計18団体			

令和2年1月時点

【1人当たり市町民所得】

本市の1人当たりの所得は2,408,000円です。県平均の3,300,000円と比較しても所得は低いことが分かります。また、伊豆半島地域の所得は県内でも低い傾向にあります。

1人当たり市町民所得 (単位: 千円)



資料: 平成28年度しずおかけんの地域経済計算